

## 鷺尾 友春教授退職記念号によせて

鷺尾友春関西学院大学教授は、2010年4月関西学院大学国際学部発足とともに教授として就任され、2016年3月末に定年退職を迎えられました。1970年に本学商学部をご卒業されていますから、合計10年間を関西学院で過ごされたことになります。

商学部ご卒業後、鷺尾教授はただちにジェトロ（現日本貿易振興機構）に奉職されました。1981年にはニューヨーク・ジャパン・トレードセンター勤務に転じられ、1989年からは2年間を主任研究員として世界平和研究所に出講、1991年からは日本貿易振興機構ニューヨークセンター調査企画担当次長、1996年アセアン経済担当閣僚・日本通産相会合貿易投資部会日本代表、2002年日本貿易振興機構シカゴ・センター所長、そののちも海外調査部部長、日本貿易振興機構理事など、かずかずの要職を歴任されました。また本学就任後も、りそなアジア・オセアニア財団理事、日本貿易振興機構評議員、大阪商工会議所国際貿易委員会委員などを兼務されてきました。

このあいだ中央大学経済学部を皮切りに、東洋大学経営学部、麗澤大学外国語学部、青山学院大学経済学部大学院国際政治経済学科などで非常勤講師としても教鞭をとられ、主に米国政治・経済論や海外投資などの授業を担当されました。アメリカでの貿易現場における豊富な経験や知識をもとに、アメリカ社会論講義録をまとめあげた『20のテーマで読み解くアメリカの歴史』（ミネルバ書房）を2013年に上梓されています。

本学部での教育面でも多数のゼミ生を育てられ、卒業生がすでに多方面で活躍されています。また学部創設当初からすでに70名を越えるゲストスピーカーをお招きしてきた国際学部連続講演会、2013年度から始まったアセアン・プロジェクト、さらには経済・経営特別演習などの企画立案運営について、中心的な役割を果たされてきました。学会活動においても産業学会、日本ビジネス学会、アジア政経学会などで活躍されています。

このように鷺尾教授は学内外を問わず、長年、実務、研究、教育において多大な貢献をなさってこられました。このたびのご退職にあたり、国際学部としての謝意を表すために、この記念号を発行することになりました。記念号の趣旨に賛同してご寄稿いただいた学内外の執筆者の方々、また編集の労をおとりいただいた『国際学研究』編集委員のみなさまに厚くお礼申し上げます。

最後に、鷺尾友春教授のご健康と今後のご研究がいつそう発展することを念じつつ謝辞とさせていただきます。

2016年3月吉日

国際学部長 杉山直人